

パーフェクトボート

海とボート&ヨットのスタイルマガジン

Perfect BOAT & YACHT

YACHT CAR TRAVEL WATCH FASHION CUISINE LIFESTYLE

AZIMUT FLY 53

12

DEC 2022



KADEY-KROGEN 58 / SANO 31 Runabout / SPACE KEY POINT / YOKOHAMA BOAT FAIR

STAY for SUSTAINABLE

「SPACE KEY POINT(スペースキーポイント)」
この夏リビエラシーボニアマリーナとリビエラ逗子マリーナに誕生した、近未来デザインホテル



純白のキューブが、プールサイドで炎に揺れていた。「SPACE KEY POINT(スペースキーポイント)」。
近未来デザインの連なるキューブに目を奪われる。ハイテックデザインだが、ここはRIVIERAが全社を
挙げて取り組むサステナブル、SDGsの最前線。その意図、真意を知るため、「RIVIERA SEABORNIA
MARINA(リビエラシーボニアマリーナ)」を訪ねた。

text: Kenji Yamazaki photo: Makoto Yamada
special thanks: RIVIERA www.riviera.co.jp



デッキから見わたす遥かな海、相模湾をわたるシーブリーズ、風に揺れるリギンの音 最先端のなかに持続可能性を見出す試み、人生の“気づき”を得る「SPACE KEY POINT」

何かが地表に降り立っている。純白のコクーンの趣き。ここは三浦半島南端、小網代の森に囲まれたマリーナリゾート。プールサイドに3つのキューブ、第三種接近遭遇か、未体験のコズミックゾーンか……。

プールの先は深い入り江の湾奥、西には相模の海が広がり煌めいている。白い航跡を残してプレジャーボートがホームマリーナに向けてゆっくりと動いている。午後の曳航。シーサイドに流れる海風、シーブリーズがヨットのリギンを鳴らしている。

「RIVIERA SEABORNIA MARINA (リビエラシーボニアマリーナ)」に置かれたそのキューブ、実はホテルである。「SPACE KEY POINT (スペースキーポイント)」。斬新なトレーラーコンテナホテルだ。

6m×6m、スクエアなこのカタチが持つ意味。キーワードは「SPACE」。宇宙、空間、間。ここには、リビエラのサステナブルな地球環境とマリン

リゾートの近未来への熱い想いがある。「相模湾に面する絶妙の環境、海と自然、ここをマリーナのゲストだけではなく、地球と宇宙を感じる場所、“ポイント”として、多くの人に感じてほしい」と、専務取締役 渡邊華子氏が想いを語る。

コンセプトは「自然と同期すること」と壮大。ゲストの居場所を意味する「SPACE (客室)」はテラス完備のプライベート空間。その「SPACE」には表札のようにN／Eの数字が描かれている。絶対座標だ。そのポイントにいる自己存在の確認、地球との会話が始まる。

テーマは「日常から解放され、再生・循環を味わい、ここでしか体験できないグランピング」。更に強い想いもある。「相模湾に面したマリーナと言う特別なポイント。宇宙と大地を感じ、自然とシンクロする場所。ミニマルなスタイル、気持ちやムードを整えるポイント。空間的スペース、時間スペース、気づきのキー、人生のキーポイント。来るたびに表情を



変える海、気軽に何度も来られるファシリティ、そしてリビエラのサステナブルへの取り組み……。皆様と共に、空間、地球、自然、今この時間を愉しむ。ここでしかできない新たな発見が生まれる体験をしてほしい」と。

＊
「SPACE」のプライベートテラスには専用のバーデプールがある。メッシュチェアにローテーブル、BBQ グリルユニットにシンクテーブルが用意されている。

SPACE (客室) 内は左右全面ガラスのリラクゼーション空間。広々としたキングサイズベッドにソファ、ギャレーに冷蔵庫庫、コーヒーマーカーが備わる。コーヒード豆は Fair Trade 認証されたニカラグア産。トイレとシャワーのパウダールームも清廉な設えでひそんでいる。夏場ならチェックインして目の前の OCEAN POOL に飛び込むもよし、これからの季節は暖かなテラスのバーデプールでまずは寛ぎましょうか。

サウナのお楽しみも最先端。TENT SAUNA、ここには SPACE KEY POINT 宿泊者専用の白いテントサウナが準備されている。熱したサウナストーンに水をかけ蒸気を充満させるセルフロウリュ。体を芯から温めたあとは、雄大な海を眺めながら極上の海辺の時間を過ごす。人にも環境に

もやさしいほぼ無煙のバイオマス燃料でサウナストーンを温める極上のテントサウナ。“ととのい”の外気浴スペースでは、水風呂やインフィニティチェアでリラクゼーションを。

「自然と同期する」、マリーナのヨットや海越しの富士山の幻想的なサンセットが広がる絶景を楽しむこの環境。この非日常の空間で時の移ろいに身を任せる。

＊
雄大なサンセット、トワイライト。空が青から白へ、やがてオレンジが増し色彩のグラデーション。風向きが変わり始める。さあ夕食の準備をしよう。

「おもてなし BBQ」、3つの BOX が運ばれてくる。“おもてなし”の名には、普段は料理をしないホストが、BBQ でパートナーをもてなしてほしいとの願いも込められている。

メニューは季節によって変わり、この日は、BOX 001 にはサステナブルテラスにブルーシーフードシュリンプのサラダ。ミックスリーフ/ブルーシーフードシュリンプ/ミニトマト/ブロッコリー /ゆずマスタードドレッシング。BOX 002 には手作りピザ用トッピング具材。チーズ/ズッキーニ/トマト/湘南シラス。季節野菜のグリル/パプリカ/なす/ズッキーニ/ともろこし/しいたけ。BOX 003 には新鮮なスズキと三浦サザエ、国産牛のサーロイン、鎌倉ハムのあらびきソーセージのメインディッシュが。

野菜はリビエラの推進するゼロウェイスト、CO₂の大幅削減を達成しサステナブルに循環する無農薬野菜。リビエラ内で出た野菜くずなどを自社のコンポストステーションで処理し、堆肥として土に利用する循環型農法で育てた、「リビエラ循環野菜」だ。シーフードも海の資源を守るため、環境に配慮された水産物を食べようという「ブルーシーフード」をメインに。もちろんこの土地、三浦半島のエネルギーをいただく食材の数々。地産地消を堪能する食材が揃う。

さあ BBQ、相模湾の海の恵み、三浦半島の太陽の恵みを存分に味わおう。この土地の季節とエネルギーを感じる贅沢。環境に配慮しながら大自然の恵みをいただく。自分で作るピザに、杉板で焼く魚料理、創業明治33年の鎌倉ハムや国産牛。自分たちでグリルし、サーブする楽しみ。丁寧なマニュアル通りにやれば初心者でもおいしく焼き上げられる。困ったときにはグリルアドバイザーが待機している





SPACE (客室)内は左右全面ガラスのリラクゼーション空間。広々としたキングサイズベッドに、ソファ、ギャレー、冷蔵庫、コーヒーマーカーが用意される。ブラインドを降るせばプライベートコクーン。テラスには専用のバーテーブルがある。

安心感。ビールでもシャンパンでも、今宵のスタイルはFree。

空に星が瞬き始める。スウェーデントーチが悠然とした温もりと明かりをもたらしてくれる。トーチを囲み甘くホットな焼きマシュマロを頬張る。リビエラ循環野菜とフルーツのアイスも味わい深い。翌朝のモーニングも彩り豊か。鎌倉ハム、地元契約農家から直送の野菜にフルーツ、平飼い地鶏の卵、ホットサンドにするのも楽しみだ。

*

「SPACE KEY POINT」で大自然に抱かれるひとときを楽しむ。ここには間違いなくグランピングの新しい体験がある。隔世の時間が流れるRIVIERA SEABORNIA MARINAには定員2名のStandard SPACEが4棟と、定員4名のCottage SPACEが1棟。そして「RIVIERA ZUSHI



MARINA (リビエラ逗子マリーナ)」には、Standard SPACE 3棟に加え、定員5名のDeluxe SPACEも1棟用意される。

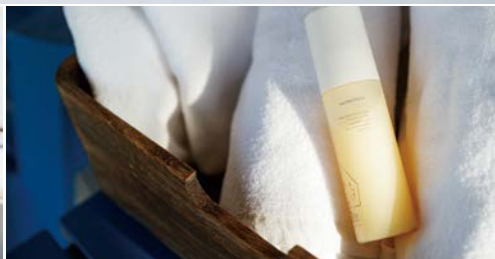
逗子の「SPACE KEY POINT」はこちらもプールサイド。サウナはSPACE同様の「OCEAN SAUNA」。大きなガラス越しに一面の海、宿泊者



起き抜けのベッドから朝の海を眺める悦楽。1 艇のセールが音もなく相模湾に出ていく。この景色はなにものにも代え難い……。トイレとシャワーのパウダールームも清廉な設え。



SPACE KEY POINT 宿泊者専用の純白のTENT SAUNAが用意される。人にも環境にもやさしいバイオマス燃料でサウナストーンを温める極上のテントサウナ。フィンランドのボディリートメント、「Re: (リコロン)サウナパック」は厳選された天然由来原料100%。シラカバ樹皮エキスを含む天然の保湿成分で肌を保護し、セルフワリュで体を芯から温めたあとは海を眺めながら極上の海辺の時間を過ごす。



専用の絶景サウナだ。木のぬくもりに包まれたフィンランド式サウナから雄大な相模湾を見下ろし、水風呂を設けた専用デッキからは水平線と富士山を眺める癒しの空間。ここでしか味わえない極上の“ととのう”を体験できる。サンセットに星空、波の音に包まれながらととのうわがまま、そしてそれぞれのKEY POINTへの贅沢を味わう。

*

三浦半島南端の温暖な気候、周囲を取り巻く小網代の森、深い水深と平

穏な波。マリーナ越しに望む海と富士山。ここにしかない自然の癒し。空間、地球、自然、今この時間を愉しむ。ここでしかできない新たな発見が生まれる。

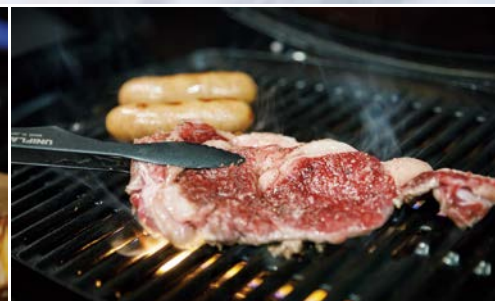
リビエラグループはマリーナ事業を開始した2001年より気候変動への危機感を覚え、環境への取り組みをスタート。そして2006年に発足した「リビエラ未来づくりプロジェクト」を通じてSDGsを積極的に推進している。その活動は、環境、教育、健康医療と幅広い。美しい海、環境を守り、次世代に残す活動。具体的には、ビーチクリーン活動、2006年から既に

リビエラ逗子マリーナのSPACE KEY POINT

逗子のSPACE KEY POINTもプールサイド。海の絶景サウナはハードキューブの「OCEAN SAUNA」。木のぬくもりに包まれたフィンランド式サウナは海を一望し、水風呂から水平線と富士山を眺める癒しの空間。ここでしか味わえない極上の“ととのう”を体験できる。

■SPACE KEY POINT リビエラ逗子マリーナ TEL: 0467-23-0005





3段の木製BOXで供される「おもてなしBBQ」。湘南シラスたっぷりのピザ、三浦のサザエは杉板焼き、国産牛サーロインはお好みの焼き加減で。旬の野菜はサステナブルな循環型農法で育てた契約農家からの無農薬野菜。シーフードも海の資源を守るため、環境に配慮されたブルーシーフードをメインに。もちろん地産地消、三浦半島のエネルギーをいただく想い。

7,500名が受講した海洋教育プログラム、水難救助、海洋普及活動、小網代の森保全活動、パームツリーの維持管理、薄膜太陽電池の普及活動、電気自動車の普及活動、電池推進船の実用化実験、シェアサイクル事業の協業、電気自動車による非常用電源システムの導入、四国での太陽光発電、米LAでの小川プロジェクトと多岐にわたる。2022年4月にはリビエラ逗子マリーナが、環境に配慮した安心安全なマリーナとして、世界最古の国際環境認証である「ブルーフラッグ」のマリーナ認証をアジアで初めて獲得。今後も、その活動分野は増え続けるだろう。

「LOVE OCEAN」の活動にも積極的だ。「海から考える未来」、相模湾

を囲む神奈川県沿海全域13市町の海岸をキャラバンする「リビエラ湘南ビーチクリーン」を、11月19、20、26、27日に開催。リビエラ逗子マリーナに2年前にオープンしたスモールラグジュアリーホテル「MALIBU HOTEL（マリブホテル）」には、屋上に太陽光パネルを設置。さらには、EV車を活用する「V2B 充放電システム」を日本のホテル初で導入し、非常時にも備えた「いつも」と「もしも」を両立させている。

近未来デザインに目を奪われがちだが、「SPACE KEY POINT」も、その意義はSDGsの意識の中にある。

空を見上げて、雲を追いかける。海と空の端境を探してみる。風の流れる先を見届ける……。人生を豊かにするリラクゼーションKEY POINT、それが「SPACE KEY POINT」だ。P.B.



■ SPACE KEY POINT リビエラシーボニアマリーナ

神奈川県三浦市三崎町小網代 1286

TEL: 046-884-1006

www.riviera.co.jp/space_key_point/



Instagram